



とうのしょうまち

東庄町 第166号

議会だより

平成30年
12月1日
発行

目次

- 9月定例会・臨時会の内容… 2～3
- 歳入歳出決算監査委員意見の概要… 4
- 常任委員会報告…………… 5
- 一般質問…………… 6～9
- 議会トピックス…………… 10

発行／東庄町議会

〒289-0692 香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 1111



第57回東庄町町民運動会



コジュリンくん

がんばれー、バトンをつなげて！

心配された天候をよそに、爽やかに晴れ渡った青空の中
10月7日(日)「第57回東庄町町民運動会」が中学校
グラウンドで開催されました。

地区対抗リレーでは、懸命に疾走する子どもたちを応援する
声にも一層熱が入り、会場を盛り上げていました。

9月
定例会

平成29年度決算を認定！

定例会の経過概要

9月定例会初日の4日には、一般質問を4人の議員が行った後、教育委員会委員の任命同意、条例の制定及び補正予算等の議案12件が上程され、いずれも原案のとおり同意・可決しました。

2日目の5日には平成29年度の8会計決算認定が上程され、予算決算常任委員会に審査を付託しました。

6日、7日及び10日には予算決算常任委員会を開催し、平成29年度各会計決算について詳細な審査を行いました。

最終日の14日には、平成29年度各会計決算について、予算決算常任委員長から審査結果の報告があり、採決をした結果、各会計決算とも認定しました。



主な議案等の概要

◎教育委員会委員の任命

向後元道委員（夏目）が9月30日で任期満了となりますが、適任者として再任することに同意しました。

◎東庄町一般職の任期付職員の採用に関する条例を制定

地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づく任期付職員制度について条例を制定し、規定を整備するものです。

◎東庄町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例を制定

介護保険法の一部改正により、居宅介護支援事業所の指定権限が都道府県から市町村に移管されことに伴い、町において基準等を定める条例を制定するものです。

◎東総広域水道企業団規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

東総広域水道企業団の議会の構成に関して関係各市町の議員の定数及び選挙の方法に関する東総広域水道企業団規約の一部を改正する必要があるため、議会の議決を求めるものです。

◎一般会計補正予算

補正額は、1億4355万2千円で、補正後の歳入歳出予算の総額を56億6555万2千円とするものです。

主な内容は、特定個人情報監査支援業務委託料313万2千円、学校施設長寿命化計画策定業務委託料648万円、小学校教育施設整備工事設計業務委託料1944円、統合小学校工事費3469万円、中学校教育施設整備工事計画設計業務委託料1149万2千円、幼稚園教育施設整備工事費1170万9千円、公共施設整備基金積立金5千万円、その他4月の人事異動による人件費を補正したものです。

◎国民健康保険特別会計補正予算

主な内容は、療養給付費等交付金返還金436万円を補正したものです。

◎食肉センター特別会計補正予算

食肉センターブロック塀改修工事の設計委託料及び工事請負費1206万2千円を補正したものです。

◎介護保険特別会計補正予算

補正額は、2273万4千円で、



来年4月よりこども園となる現笹川幼稚園

◎東庄町立幼稚園設置条例の一部改正
現在2園ある幼稚園を平成31年4月から、1園化するとともに、こども園化するために幼稚園設置条例について所要の改正をします。

◎工事請負契約の締結について
東庄中学校の駐輪場等整備工事(その1)に、関係法令の規定に基づき、議会の議決を求めます。

補正後の歳入歳出予算の総額を14億2199万5千円とするものです。
主な内容は、国庫支出金等過年度分返還金1609万5千円、一般会計繰入金505万7千円、その他4月の人事異動による人件費を補正したものです。

9月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=×
欠席=欠 (議長は、採決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	土屋光正	宮澤健	佐久間義房	板寺正範	花香孝彦	大網正敏	高木武男	鈴木正昭	山崎ひろみ	土屋進	宮崎正吾	鎌形寿一	城之内一男
同意第2号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
議案第22号	東庄町一般職の任期付職員の採用に関する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号	東庄町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号	東庄町東日本大震災復興基金条例を廃止する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第25号	東庄町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第26号	東総広域水道企業団規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第27号	平成30年度東庄町一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第28号	平成30年度東庄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第29号	平成30年度東庄町食肉センター特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	平成30年度東庄町訪問看護ステーション特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号	平成30年度東庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第32号	東庄中学校駐輪場等整備工事(その1)請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第33号	工事請負契約の締結の議決事項の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第1号	平成29年度東庄町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
認定第2号	平成29年度東庄町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
認定第3号	平成29年度東庄町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
認定第4号	平成29年度東庄町食肉センター特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
認定第5号	平成29年度東庄町訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
認定第6号	平成29年度東庄町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
認定第7号	平成29年度東庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
認定第8号	平成29年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-

—第2回臨時会 11月1日招集—

◎東庄中学校駐輪場等整備工事(その2)請負契約の締結・・・原案可決
契約の金額……………82,499,040円

契約の相手方 株式会社 伊藤工務店

**平成29年度各会計歳入
歳出決算監査委員
意見の概要**



平山茂 代表監査委員

一般会計・特別会計

平成29年度は、これまでの取り組みによる成果を生かし、特色ある町の発展と、さらには、人口減少を食い止める政策を目指し、「第6次東庄町総合計画」を策定した年度である。

財政力指数は、前年度に比べ若干増加したものの、平成19年度のピーク時にはまだ及ばず、今後とも財政基盤強化の取組みに努められたい。次に、経常収支比率ですが、平成

29年度決算においては、若干の改善が見られたことから、今後も予算執行における継続的な経費抑制に努め、比率改善に努力されたい。

町税の徴収率は依然として90%台の高レベルを保っており、滞納に対する職員の高い意識で立ち向かう徴収努力は評価したい。徴収率は健全な財政運営のためにも、その根幹をなすものであるため、町民の納税意識の高揚を図り、徴収率の向上に努めることを望むものである。

次に、国民健康保険特別会計については、収入未済額・不納欠損額、ともに減少となり、滞納額も対前年度比で減少しているものの、まだまだ低水準であり、憂慮すべき事態であることに変わりはない。今後も、資格証制度の適用強化など積極的に滞納額減少に努められたい。

介護保険特別会計については、今後も制度の円滑な運用を図られるよう、要望する。今後の財政運営においては、財源の確保が厳しい中、事務事業の重点化の検討と、更なる歳入の増収・歳出縮減に取り組み町民満足度の高い町制運営を強く望むものである。

水道事業

平成29年度決算における業務実績については、給水戸数は増加、水道

普及率は84.2%で前年度より0.2ポイント増加した。年間給水量については、行政区域内の人口減少が続く中、景気・気候等種々の要件が影響することを考慮し、的確な需要予測等に基づいた効率的な事業運営に努められたい。

経営状況については、黒字決算を維持しているが、依然として給水原価が供給単価を上回っている。

水道事業の本旨である飲料水の安定供給を図ることはもとより、災害時における給水体制・設備の充実も期待されることであり、なお一層の経営努力に取り組み、損失が生じないよう健全経営を目指していただきたい。今後、各設備の耐用年数経過に伴う更新事業の発生は必然となるため、設備管理の強化と、中長期的な経営計画を、引き続き策定されるよう強く要望する。

国保東庄病院事業

平成29年度決算においては、病床利用率では、平均で63%となり、健全経営の指標の一つである70%台を維持することができなかった。

今後は、その時々々の医療環境に当院の体制をいち早く適応させ、医療・介護保険適用病床数の利用率の向上に努力されたい。

経営状況については、病院事業収

益が前年度比9.5%減で、病院事業費用は前年度比11.8%減額となっている。平成29年度は、電子内視鏡システム及び一般病棟ナースコール設備等の更新がされ、高度医療の要求に応えると共に、地域住民の健康増進に繋がるものであるため、更なる充実を図られたい。

また、近辺に新規老人施設の新設と、総合病院の建て替えにより、患者数の減が病院経営に多大な影響を及ぼしているところと考えるが、医師・スタッフが意識改革を図り、総力を挙げ、医療体制の充実・患者サービスの向上に努められたい。

今後とも、旭中央病院との連携を軸に地域の中核医療・療養施設としての役割を果たすべく、医師等の確保に万全を期すと共に、安全で安心な医療が提供されることを望むものである。

監査委員 平山 茂
監査委員 土屋 進



予算決算 常任委員会報告

予算決算常任委員会における質疑、意見等の概要は次のとおりです。



(一般会計 歳出)

質 町税の徴収率が非常に高くなっている理由は。

答 臨戸徴収、文書・電話催告、納税相談等、担当職員を中心に懸命に行ったことによるものと考えております。また、収税協力会の制度及び、より安全・確実・便利な口座振替を推奨する内容の文書も配布いたしました。この結果、収税協力会の徴収率も向上いたしましたところと見られます。今後も、納税の公平化、公正化に向け、更なる徴収率



の向上に励んでまいりたいと思っております。

質 防犯カメラ設置工事の場所と台数は。

答 J R 笹川駅・橘駅・役場と同じ形態のものを一基ずつ、全部で三基設置しています。その他、保健センターに一台カメラを追加したため、計4ヶ所の工事となっております。また、これとは別に、産業廃棄物不法投棄監視カメラ設置についても、対応していきたいと考えております。

質 図書館利用状況の図書貸出冊数が、10月、11月と急激に増えた要因は。

答 昨年10月から開始した行政ポイ

ントの付与が大きな要因かと思われ、一冊につき5ポイント付与しております。

質 文化祭の参加人数が減少しているが、その原因等分析しているか。

答 原因の一つは天候が悪かったことが考えられます。また、内容が毎年変わらないのも要因と思われます。文化協会会員の高齢化による、会員数の減少傾向があることも否めません。今後も文化協会と協力しながら、内容の充実と参加者増加に努めてまいりたいと思っております。

(介護保険特別会計)

質 現在、町の寝たきり老人は何人ぐらいいるか。

答 紙おむつ支給事業で支給した人数では、45人程度と把握しております。

質 認知症初期総合支援集中支援チーム検討委員会における、対策と検討内容は。

答 対策では、町として、認知症コーデイネーターの養成事業を行っております。その内容につき、職員・小学校等を対象に、町民に広く、今現在、周知をしているところと見られます。

(水道事業会計)

要望 水は、生活になくてはならない非常に大事なものである。今後、も剰余金については、将来に向け、更なる積立の継続をお願いしたい。

(東庄病院事業会計)

質 減価償却費が去年よりも減っている理由は。

答 非常用発電機と生化学分析装置等が、法定耐用年数を過ぎていることと、減価償却をする額が減少したということと見られます。

以上のような質疑・意見等が交わされ、当委員会に付託された平成29年度各会計決算認定は、採択した結果決算書のとおり、認定すべきものとするに決定しました。

また、水道事業会計決算における剰余金の処分については、原案のとおり可決すべきものとするに決定しました。





板寺 正範 議員

笹川駅南地区の整備について

問 町道2015号、町道2006号笹川駅西側道路排水、及び町道2017号について、これまでの経緯と今後の予定を伺う。

まちづくり課長 町道2015号線は、東庄郵便局から西へ約510m区間です。平成28年から30年度にかけ道路改良工事を行い、概ね完了していますが、残った狭隘箇所については、今後も地権者に了解を得られた段階で拡幅して行きたいと考えます。

また、2006号線は、笹川駅西側の伊能踏切から大利根用水に向かい約250m区間です。このうち、約150mを平成27年から28年度にかけて、工事を実施しました。今後2006号線の残区間は、地中構造物による流末排水工事が完了後、道路側溝整備・舗装工事を実施します。また、T字路の隅切り等用地取得をして整備したいと考えています。

その後、成田線の軌道横断排水工事をJR東日本千葉支社に委託し、実施する予定です。そして、笹川駅西側の道路排水整備約270mを実施して軌道横断排水箇所に接続する計画でいます。2017号線は、駅南側の大利根用水沿いの約500mの未舗装道路ですが、今後、笹川駅西側道路排水整備を完成させた後に、整備していきたいと考えております。



問 流末排水の今後の方向性は。

まちづくり課長 現在、町では東庄郵便局までの県道の排水路について、管理している香取土木事務所に水路拡幅と排水整備を要望しております。

駅南側排水路については、県道の排水路を整備した後に、改めて断面や敷高等を検討いたします。また、桁沼川吐口の断面を大きくすることも検討しており、既存の排

水路で効果があり、改修可能なものについては順次着手していく考えです。
要望 笹川駅南地区の整備は、地区の安全安心の確保、利便性の向上はもちろん、周辺の良好な環境から土地探しをしている子育て世代の受皿になると思う。そのためにも、早期整備を要望する。

平成30年7月豪雨災害地へ
東庄町議会議員団より
義援金10万円を送りました

議会議員視察研修会

平成30年10月23日～24日、群馬県吾妻郡長野原町及び利根郡川場村へ
利根川と関わりの深い当町として、治水・利水・発電の開発についての先進地である長野原町ハッ場ダムを訪問することとなり、カスリーン台風の被害や利根川の治水の必要性を改めて再認識する良い機会となりました。
当町も、安心安全な町づくりに取り組んでまいります。





山崎 ひろみ 議員

不育症の周知、患者支援の取り組みについて

問 不妊症と比べ、いまだ不育症を知らない人が多くいるが、情報提供や相談窓口の周知・更に治療費の助成をすべきと考えるが、町の見解を伺う。

健康福祉課長 不育症とは、妊娠しても2回以上の流産・死産若しくは生後1週間以内に死亡する早期新生児死亡により、結果的に子どもを持つことができないことと定義されています。町としましては不育症は、少子化対策の一環として、大変重要なことだと認識しています。

現在、県内の保健所が相談窓口となっており、今後、町ホームページ・広報等により、広く町民に周知していく予定です。なお、町への相談は現時点では1件もございません。次に、治療費助成制度ですが、県内では6市町の自治体の実施しております。当町としましては、少子化対策の一環として、要綱等整備し、

なるべく早い時期に導入したいと考えております。

子育て世代が定住したいと思う町づくりについて

問 人口減少対策として、子育て世帯の定住が鍵となると思う。現在アパート住まいで、これから家を建てようとしている方達の為に、分譲地を整備する考えはないか。



総務課長 町には、住宅地として分譲できるような町有地が無いのが現状です。また、「空き家・空き地バンク」を実施していますが、登録件数が少ない状況です。町内に新たに居住される方が増加することは、町としても望ましいことですので、民

間不動産業者と協力・連携出来ることがあれば実施し、情報発信できるように努めて参りたいと考えております。

問 子育て支援として、紙おむつの助成・出産祝金・学童保育利用料の助成をすべきと考えるが、町の見解を伺う。

健康福祉課長 乳幼児の紙おむつを取り扱っている小売店が町内に無いことから、町内で取り扱いのあるドラッグストア等を検討しているところです。第2子・第3子への出産祝金については、子育て支援・少子化対策として有効と考えますが、県内市町村の状況等把握し、関係部署と協議の上、検討してまいります。

次に、32年度から小学校が統合され1校となることや来年10月から幼児教育・保育無償化が実施される予定であること、また、保育所保育料はひとり親家庭及び多子世帯等で軽減を行っていることに鑑み、学童保育利用料の助成についても検討してまいりたいと考えております。

問 安心して、子育てや仕事ができるよう、来年度に向けて早めの待機児童対策が必要と考えるが、町の取り組みを伺う。

健康福祉課長 平成30年度保育所入所待機児童については、当初24名が最終的に7名となりました。町内各保育所に保育士確保をお願いしてまいりましたが、大変厳しい状況に変わりありません。

また、来年度から幼稚園が認定こども園としてスタートする予定ですので、待機児童削減のため、現在の保育所の4歳児の多くが認定こども園に進んでいただけるよう、関係部署と連携してまいります。本年4月には、「子育て支援係」を新設しましたので待機児童ゼロを目指し、速やかな対応をしてまいります。

県においても、本年9月に千葉県待機児童対策協議会を立ち上げることから、当町も協議会に加わり、情報収集に努め、待機児童解消に向け、協議してまいりたいと考えております。





高木 武男 議員

統合小学校の整備について

問 統合小学校開校まで期間が迫る中、リフォームの内容と行程表をお示し下さい。

教育課長 北校舎の大規模改修設計業務委託費と、南校舎空調設備設計費・工事費を今年度実施すべく、今議会に補正予算として提出いたしました。今後、設計業者が決定次第、詳細スケジュールを詰めたくうえで、ご説明させていただきます。平成30年度中に空調設備を整備し、来年度夏休みを中心に北校舎大規模改修を行います。

今後も児童の移動等学校側と十分な協議・調整を行い混乱が生じないような形で整備を進めて行きたいと考えています。

問 校庭の環境整備は教室での授業以上のものがあると考えます。校庭の外周に樹木を植栽し、校庭を芝生化すると良いと思いますが、教育委員会の見解を求めます。



教育課長 校庭の芝生化のメリットは、子ども達が緑と直接触れ合う機会が増える、転んでも怪我をしにくい、砂ぼこりが防げる、ヒートアイランド現象の緩和等があると考えられます。一方、デメリットとしては、初期投資の費用やスプリンクラー等散水設備・維持管理の問題が挙げられます。また、各地で校庭・園庭の芝生化事業が実施されていますが、維持管理が難しく、数年で芝生がなくなってしまう例も多数あると聞いています。成功例として、学校・地域住民・保護者が一体となり、ボランティアとして維持管理を行うといった体制づくりが必要不可欠のようです。今後はこども園や学校とも協議し検討してまいりたいと思います。

次に校庭の外周に里山ゾーンを整備する件ですが、現在の笹川小にこのようなスペースを確保することは非常に困難な状況です。しかし、子ども達が自然と触れ合うのは情操教育上大変重要と認識しておりますので、学校施設の整備が終了しましたら、学校側と協議し、可能な限り緑を増やす努力をしてまいります。

要望 東庄町民から次代を担う子供達へのプレゼントとして、校庭の芝生化と環境整備を要望いたします。



橘小児童の稲刈り体験

総務産業常任委員会 行政視察報告



JAPAN サッカーカレッジ

「ジャパンサッカーカレッジ視察」
—新潟県聖籠町の廃校となった旧亀代中学校をサッカー専門学校へ転用—
大きな資本力の運営母体が総合的に事業を展開していく安定感と、町の未来が想像できる若い人達の集まるサッカーカレッジは、これまで参加した視察の中で唯一継続可能な事業ではないかと、個人的に感じました。

このような企業がないでしょうか。



土屋 進 議員

東庄町における

将来への展望

問 少子高齢化による人口減少・地域の活性化など、将来への町政運営についての町の見識を問う。

また、今年暮れには町長選挙が行われるが、その思いを伺いたい。

総務課長 人口減少対策として、28年3月に策定した「東庄町総合戦略」を基軸に、婚活応援事業・医療費助成・子育てサポート事業等を行っております。このうち、婚活イベントに参加した方の結婚組数が29年度実績で2組となりました。医療費助成では0歳から18歳までの医療費を助成しております。また、子育てサポート事業では、29年度にファミリーサポートセンターを開設し、30年度からは、幼・小・中の給食費を助成し、実質無償化いたしました。

次に地域の活性化では、活性化する取組を行う団体へ補助金を毎年交付しており、28年度からポーク&ビ

アの開催・29年度から商店連盟コジユリンポイントにも参加し、行政ポイントを発行しています。人口減少を食い止めることは、難しい問題ですが、今、当町に住んでいる方を大切にし、人口規模に見合った魅力ある地域を目指し、安心安全な町作りを実現させるため、有効と思われる施策を今後も継続していくことが、大切と考えております。

町長 町は、今、人口減少・少子高齢化の対応・農産業の振興や地域活性化等、取り組むべき課題は山積しております。

私は、多少なりとも積み上げた経験と深い感謝の気持ちを今後の町政でお返ししてまいりたい、町民の方々のご理解ご支援が得られれば、町長選挙に出馬し、全力で仕事をしたいことを、お誓い申し上げたいと思います。

問 国道356号線バイパス開通に伴い、当町も「道の駅」構想を練り、観光や地場産業の活性化につなげてはどうか。

河口堰・コジユリン公園・黒部川排水機場の付近に水と緑の街が体現、癒しが感じられる複合的施設を構築されてはと考えるが、町の考えは如何に。



コジユリン公園

まちづくり課長 利根川河口堰付近は、今後バイパスと北ルートの完成により、町の交通の要衝となると考えます。また、河川敷には、コジユリン・オオセツカなど希少な生態系を育む日本有数のヨシ原湿地が広がっており、道の駅等の設置場所としては非常に適した場所と考えております。今後は、国道356号バイパスや北ルートの完成を見据えながら、生産者・専門家・関係団体等の幅広い意見を聴きながら検討していきたいと考えています。



町の鳥 コジユリン

議会の傍聴に
お出かけください

12月定例会は、12月4日(火) から
開会予定です。

<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>



この一般質問は、9月定例会の内容を要約したものです。全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい



挨拶をする香取郡市町議会議長会長
城之内 一男

8月24日、東庄町公民館大ホールを会場に、香取郡市町議会議員研修大会が、1市3町の議員をはじめ来賓多数を迎え開催されました。

(一社)持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山浩氏による「地元を創り直す時代／持続可能な地域社会に向けて」と題した講演が行われました。

香取郡市町議会議員研修大会を 当町で開催

議会活動日誌

【議長・議員が出席した主な行事】

8月

- 2日 千葉県町村議会議員研修会
- 3日 第69回利根川治水同盟治水大会
- 4日 東庄音頭盆おどり会
- 10日～12日 東庄ポーク&ビア夏祭り
- 15日 東庄町戦没者慰霊祭
- 17日 介護保険運営協議会
- 21日 山口県町議会議長会研修視察来町
- 24日 香取郡市町議会議員研修大会
- 〃 議会全員協議会
- 27日 東庄町俳友会夏季俳句大会
- 28日 議会運営委員会
- 29日 平成30年8月東総広域水道企業団議会定例会
- 31日 香取広域市町村圏事務組合議会決算審査

9月

- 4日 議会9月定例会本会議
- 5日 議会9月定例会本会議
- 6日 予算決算常任委員会
- 7日 予算決算常任委員会
- 10日 予算決算常任委員会
- 14日 議会9月定例会本会議・全員協議会
- 16日 東庄中学校運動会
- 20日～21日 総務産業常任委員会行政視察研修(新潟方面)
- 21日 金婚・米寿をお祝いする会
- 23日 町内全小学校運動会
- 28日 議会改革特別委員会
- 30日 東庄町歌謡愛好会発表会

10月

- 3日 自衛隊協力会視察研修
- 5日 利根川下流域市町議会議長会定例会
- 〃 東庄町小中学校音楽会
- 7日 町民運動会
- 12日 佐原の大祭・秋祭り観賞会及び意見交換会
- 17日 議会広報編集委員会
- 18日 香取市東庄町病院組合議会・議運・全員協議会・定例会
- 19日 町小学校ミニバスケットボール大会
- 20日 笹川・橘幼稚園合同運動会
- 22日 香取広域市町村圏事務組合議会・議運・全協・定例会
- 23日～24日 議会議員行政視察研修(群馬方面)
- 28日～29日 小見川交通安全協会東庄町支部視察研修
- 29日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- 30日 議会改革特別委員会



山口県町議会議長会の皆さんと

◆編集後記◆

日増しに寒さ加わって、味覚の秋・読書の秋となって参りました。収穫祭や文化祭が各地でグラウンドや校舎を利用し開催されています。小学校統合に向けて各部会で議論がなされ、併せて閉校準備委員会が進められています。今回廃校跡地の利用状況等を視察し、住民・行政・議会が一体となり協働し、成功してまいりました。

我が町の議会も住民の皆様のご意見を行政に反映し、活動ご理解頂けるよう内容をより解りやすく、見える化できるように私達一層努力してまいります。

(委員 鈴木 正昭)

議会広報編集委員

- | | |
|------|--------|
| 委員 長 | 花 香 |
| 副委員長 | 宮 澤 |
| 委員 | 山崎 ひろみ |
| | 鈴木 正昭 |
| | 大野 正敏 |
| | 土屋 光正 |

